

温度のバリアフリー化を推進する、 「STOP!ヒートショック®」プロジェクトに参画

～ヒートショック対策に有効な「わかすアプリ」で、良好なおうちの環境づくりをサポート～

湯まわり設備メーカーの株式会社ノーリツ（本社：兵庫県神戸市、代表取締役社長：竹中 昌之）は、近年社会問題のひとつとして注目されている「ヒートショック」に関する啓発活動を行う「STOP!ヒートショック®」プロジェクト（以下、本プロジェクト）に参画いたします。

当社は、ヒートショックに関する正しい知識の普及とともに、ヒートショック対策に有効な「わかすアプリ」の提供を通じて、お客さまの安心した暮らしづくりに貢献してまいります。



STOP!ヒートショック

良好なおうちの環境を整えよう!

「STOP!ヒートショック®」プロジェクトについて

本プロジェクトは、ヒートショックに関する正しい理解と対策方法を社会に広め、一人でも多くの方にリスクを回避していただけるよう、企業協働で推進する社会貢献型啓発活動です。活動を通じて、ヒートショックに関する正しい知識の普及に努めるだけでなく、ヒートショック対策のポイントである温度のバリアフリー化の具体的なアクションとして、良好なおうちの環境をつくる提案などを行っています。

- ・公式 WEB サイト (<https://heatshock.jp/>) をご覧ください。
- ・活動期間：2025 年 10 月 1 日（水）～2026 年 2 月 28 日（土）

ヒートショックとは

ヒートショックとは、暖かい部屋から寒い部屋への移動などの、温度の急な変化が体を与えるショックのことです。ヒートショックが原因となる死亡事故に限りませんが、近年では入浴中に急死した方が「交通事故」による死亡者数よりも多くなっています*1。

また、入浴事故と血圧の変動は深く関係していると言われています。特に、高齢者は血圧変化を起こしやすく、体温の調節機能も低下しがちなことから、注意が必要です*2。

ヒートショックという言葉自体の認知は約 9 割*3 と進んでいる一方で、ヒートショック対策を日常的に行っているという回答は 6 割に満たない状況*3 と十分に対策されていないというのが現状で、超高齢社会に突入した日本にとって今後対応が必要とされるテーマのひとつであると言えます。

ヒートショック対策に有効な「わかすアプリ」

「わかすアプリ」は、外出先や家の中からスマートフォンを使って、お風呂のお湯はりや暖房操作ができる、給湯器リモコンの遠隔操作ツールです。お風呂の状況がひと目でわかり、同居家族の入退浴状況や、入浴時間も確認できます。また、入浴時間が長くなっている場合など、アプリから浴室へ呼びかけも可能^{*4}で、ヒートショック対策としてもご活用いただけます。



▼「わかすアプリ」詳細

https://www.noritz.co.jp/product/kyutou_bath/remocon/app.html

*1 消費者庁コラム Vol.12 高齢者の事故 ―冬の入浴中の溺水や食物での窒息に注意― | 消費者庁 (2024 年 12 月 19 日)

*2 交通事故死の約 2 倍?! 冬の入浴中の事故に要注意! (2024 年 4 月 9 日)

*3 「STOP! ヒートショック」プロジェクト (インターネット調査 2025 年 3 月)

*4 浴室リモコンから呼びかけします。アプリとリモコン間での通話はできません。

ニュースリリースに記載されている内容は、発表時点のものです。